

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館

〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp

2ヶ月ぶりの利用再開 活気が徐々に戻る

笠懸公民館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月7日(出)から施設利用を休止していました。

9月30日(休)をもって群馬県に発令された緊急事態宣言が解除され、県内及び市内の感染者も減少傾向にあることから、10月1日(金)から笠懸公民館をはじめ市の公共施設が段階的に利用を再開しました。

再開初日は皆さん慎重な対応を取り、利用もそれほど多くありませんでしたが、

徐々に利用が増え、以前の活気が公民館に戻ってきました。

公民館の玄関やロビーなどあちこちで、「久しぶり！」と再会を喜び合う利用者の声が聞こえました。

ある団体では「新型コロナウイルスの感染拡大が繰り返される中でやっと緊急事態宣言が解除となり、10月6日から活動を再開させることができました。なんとなく不安な毎日を過ごしてきましたが、先生や会員の皆さんと顔を合わせることににより日常が戻ってきたような気持ちになりました。会員は10人余りですが、学べることに感謝しながら継続し、心穏やかに過ごしていきたいと思います。」と話をしていました。

また、別の団体では「笠懸公民館が利用できない間はWebを使った活動も行ってきましたが、環境が整



っていない家庭では参加できないなど、十分な活動はできませんでした。施設利用が可能になり、集まるところですが、新型コロナウイルスに対するの会員の考え方もあり、緊急事態宣言が解除されても活動に参加する人はまちまちで、今後の活動が心配です。子どもたちの自主性や協同性などを育む活動をしている中で、年代毎に今だからやっておきたいものもあります。新型コロナウイルス感染症拡大前のようにはいきませんが、新たな方法を模索しながら今後も活動を進めていきたいです。」と

の声もありました。活動ができない不安な気持ちで休館期間を過ごしてきた多くの利用者が、コロナ禍で活動が制限されたことで、活動できる喜びを感じ、より一層、公民館活動が活発化する機会となればありがたいものです。

公民館利用にあたっては、引き続き、群馬県の警戒度を考慮した各部屋の利用人数の制限や利用中のこまめな換気、活動後の消毒作業などをお願いしています。また、利用者には各自マスクの着用・体温測定・手指消毒・人との距離の確保など、感染防止対策を徹底していただきますようお願いいたします。



笠懸公民館主催 **お母さんと一緒に教室**

第4回 **えんぴつ立てでできたよ**



▲どんなえんぴつ立てができるかな

10月1日(金)ごどものお部屋で開催され、7組の親子が参加しました。緊急事態宣言により9月は開催できなかったため、久しぶりの再会で元気にはしゃぎまわる子や、お母さんから離れられないで泣いてる子など、にぎやかでした。子どもたちは、根岸先生が電子ピアノを引きはじめるとすぐにお母さんの膝にすわり一緒に歌を歌いました。今回はえんぴつ立て作り

です。季節がずれてしまいました。折り紙で折ったスイカに種を描いたり、クワガタの目にシールを貼りそれを筒にのりで付けます。子どもたちはお母さんに見守られながら取り組んでいました。かわいいえんぴつ立てができあがると見せあ

つて喜んでいました。今回は先生の絵本の読み聞かせやお誕生会など盛りだくさんで、帰りはみんな笑顔でした。制作後は机や床についたクレヨンの汚れを落としたり、片付けをしたり、先生やお母さんたちみんなですしつけや子育てしていることを頼もしく感じました。

第5回 **どんぐり拾い**

10月7日(休)はどんぐり拾いです。

ごどものお部屋で、子どもたちは先生が分けてくれた色紙を小さくちぎって、ペットボトルに入れていま



▲どれにしようかな～

した。紙をちぎるのが楽しかったのか、子どもたちはその場に座り込み、騒ぐことも無く、真剣にちぎっていました。

色紙を入れ終わると、公民館の裏に出て、どんぐり拾いです。色紙が入ったペットボトルに拾ったどんぐりを入れ、フタをして振るとマラカスの出来上がりです。シャカシャカといい音がして子どもたちは大喜び。それぞれ自分のマラカスを持って、嬉しそうにはしやぎ回っていました。

お部屋に戻ってからも子どもたちは、先生やお母さんが優しく見守る中、お友達と仲良く、マラカスを振って遊んでいました。

コラム **豆電球**



初めて合唱したのは誰？

秋の過ごしやすい季節に合唱のハーモニーはとても心地よいものだ。しかし、残念なことにコロナ禍で自粛ムードもある。万全な対策をして、なんとか合唱コンクールも開催できればいいと思うが、初めて合唱というものをしたのは、いったい誰なのだろう。

答えはピグミー族。現在はアフリカ赤道地帯に住む狩猟採集民族で、平均身長は150センチ以下。かつてはアフリカ全域に居住していたようだ。

アフリカの部族は独自の楽器を奏でて踊り歌うのが普通だが、このピグミー族は、いつさいの楽器を持たない珍しい部族だ。彼らはアカペラのように、自分たちの声だけで音楽を作り出していた。

古代ギリシャ人は、このピグミー族を自国に呼び寄せ、その美しい歌声を楽しんでいたようだ。

当時、ヨーロッパには合唱という歌唱方法は存在せず、ピグミー族の歌い方が合唱のルーツになったといわれている。

早く新型コロナが収まり、合唱も通常にできることを心から願うものだ。

笠懸公民館主催

令和3年度みどり市市民講座 第2講

「起こること全てに意味がある
～夢と希望～」 受講者募集中!!

12月19日(日) 14時～15時30分

3度のオルガンコンクール全国優勝経験を持つ講師が、海外で音楽事業を行う中で日本との様々な違いを痛感。いくつもの逆境を乗り越えた経験から、これからの時代に必要な考え方を金融経済を交えて語ります。また、オルガン演奏も楽しみいただけます。



講師
株式会社インブライズ
金子 勇人氏
(笠懸東小学校・
笠懸南中学校出身)
会場
グンエイホールPAL

問合せ 笠懸公民館

詳しくはホームページへ→



笠懸公民館の紹介動画作成中!

新型コロナウイルスの感染拡大により、笠懸公民館でも施設利用の休止や事業が中止となり、今まで行ってきた公民館活動が思うように進められない状況が続いています。

このような状況の中、笠懸公民館ではコロナ禍の新たな取り組みとしてICT(情報通信技術)を活用した情報発信事業を計画しています。

記念すべき第1弾として、笠懸公民館の施設紹介動画



▲みどモスと一緒に撮影

桂萱公民館へ視察研修

公民館で動画による情報発信に取り組みにあたり、県内で先進的に動画配信による公民館事業を進めてきた桂萱公民館(前橋市)への視察研修を行いました。

9月24日(金)に笠懸公民館の職員3人が桂萱公民館を訪問し、前桂萱公民館長の

の作成を進めています。企画から準備、撮影、編集まで公民館職員で担当しますが、初めての試みのため、悪戦苦闘しながら取り組んでいます。今回は、特別ゲストとして、みどり市マスコットキャラクターのみどモスが登場。かわいく元気いっぱい笠懸公民館を紹介してくれています。みどモスの愛らしい姿を、ぜひ動画でご覧ください。動画はただ今鋭意作成中です。公開までもうしばらくお待ちください。



▲動画の撮影を見学

茂木勇さん(現・前橋市末来政策課課長補佐)から動画配信による事業を始めた経緯や経験談、課題などを伺いました。また、実際に講座の動画撮影の様子なども見学させていただきました。企画から動画配信までの一連の流れを詳しく知ることができました。

コロナ禍では、公民館の事業も今までどおりには進められません。新しい活動方法の1つとして、この視察研修で学んだことを生かし取り組みを進めていきます。また、今後は、YouTubeやZoomを活用した講座の開催、公民館利用団体のPR動画の作成なども検討しています。ご期待ください。

笠懸公民館主催教室

「大人のクリスマスリース教室」

12月5日(日)

10:00~11:30

バラやシルバークローニアなどを使って、シックでおしゃれなクリスマスリースを作ります。生の素材を使うので、時間の経過とともに変化を楽しめます。クリスマスのお部屋を手作りリースで彩りませんか?

- ◇会場 笠懸公民館 1階 美術工芸室
- ◇対象 みどり市在住・在勤・在学の方
- ◇定員 12人(応募者多数の場合は抽選)
- ◇費用 1,500円(材料費)※当日お持ちください
- ◇持ち物 (あれば)花用のはさみ



※画像はイメージです。

申込方法 氏名、住所、電話番号、年代をメール・電話・窓口のいずれかで伝えて申し込む。
(窓口・電話受付時間 月曜を除く9:00~17:00)

申込期限 11月23日(火)17:00まで

問合せ 笠懸公民館 TEL:0277(76)2211

メール QR→



Email: kouminkan@city.midori.gunma.jp

その他 抽選結果はハガキでお知らせします。

館報編集協力員に聞きました！ 第2弾

かさかけ公民館だよりは地域の住民で構成する「館報編集協力員」により、毎月発行しています。先月号に続き今回も編集協力員5人に活動の感想を伺いました。

長谷川 佳江さん (8区)

館報(笠懸公民館だより)に携わって14年が過ぎたなんて、あつと言つ間で自分でも驚いています。

「とりあえず見学だけでも」と誘われて、そのまま編集協力員となつてしまいました。会議のため仕事の帰りにそのまま公民館へ行き、取材は休みの日を利用して行いました。今では毎日が休日となりましたが、公民館で生き生きと活動する皆さんの笑顔がとても素敵で、取材のたびに元気をもらいました。それでも書く事の難しさに毎日頭を悩まされましたが、校正の時には本当に勉強になりました。

地域の皆さんに情報をお伝えできる幸せをしみじみ感じております。

やさしい仲間と共に、もう少し館報を頑張つてみようと思つています。

土谷 芳治さん (2区)

2007(平成19)年5月、笠懸公民館報が創刊しました。その翌年から編集協力員として携わり今日に至つております。館報づくりを社会教育の一環として捉え、生涯学習と並び重要な活動のひとつとしてこれまで取り組んできました。そして今、書くことの難しさを痛感しています。それは読んでくださる方がその真意を汲み取り理解されているのだろうか、と。そんな思いがたびたび脳裏をかすめます。

昔、新聞等の文章作法の基礎は5W1Hだと学びました。When(いつ)、Where(どこで)、W

ho(だれが)、What(なにを)、Why(なぜ)そして、How(どのように)と。

古くから文章作法の基本として今日まで語り継がれています。この手法、今日ではビジネス界にも取り入れられ好評を博していると感じます。

伝えたい内容を5W1Hに沿つて文章を構成するから情報の整理ができ読みやすくなり、読み手の理解を得られるのではないと思えます。そんな思いを持ちながら他の編集協力員と協力しながら、読みやすい平易な文章で皆さんに情報を提供し、住みよい地域社会づくりに貢献できることを願っているのです。

初山 巖史さん (2区)

2年目の新米編集協力員です。取材に行つても世間話に夢中になり、肝心なことを聞き忘れてしまつたり、いい写真が撮れなかつたりといつも皆さんに助けられて何とかがやっています。

防災を考える ⑪

エスディージャー
SDGs

最近よく耳にするSDGs(持続可能な開発目標)。

防災の立場から考えると11番目のゴール「住み続けられるまちづくりを」というものが設定されています。具体的には、災害に強いまちづくり、災害による死者、被災者を減らすための政策、都市計画など、地域全体として災害に対する強靱性を

高める必要があります。まずは自分の地域に起こりうる災害(地震、土砂崩れ、水害、突風、竜巻など)を考え、命を守るための行動をどうするか、自分、家族、隣近所、要支援の方など誰一人取り残さない、自助共助公助の方法を。防災意識の向上が助け合い、支えあう「住み続けられるまちづくりを」という目標に近づく一歩かも。一人の100歩より、みんなで一歩ずつ備えましょう。

SDGsとは…国連が2015年に定めた2030年までに達成を決めた持続可能な開発目標17

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10人や国の不平等をなくそう
- 11住み続けられるまちづくりを
- 12つくる責任つかう責任
- 13気候変動に具体的な対策を
- 14海の豊かさを守ろう
- 15陸の豊かさを守ろう
- 16平和と公正をすべての人に
- 17パートナーシップで目標を達成しよう



取材を通じて色々な場所に行き、実際にその活動に携わっている方の思いや、苦勞を聞くとなんとなく情報として知っているつもりだった事が自分は何も知らなかったと気づくこともありとても新鮮です。

防災士という事で「防災を考える」のコーナーを担当していて、どうすれば皆さんが共感して関心を持ってもらえるかを考えながら、苦手な文章に思いを込めて、思いだけを込めて書いています。編集協力員として多くの人とつながりが持てることは、地域の防災を考えるうえでとても大切なことで、防災に興味のある人もない人も、町内の防災士の人もどんどんつながって下さい。微力ではありますがですが無力ではないと信じてこれからも情報を発信していきたいと思えます。

仁田 克洋さん (8区)

私が館報編集協力員を始めたきっかけは、平成大合併でみどり市が誕生した年に公民館より協力員の話

いただいたことでした。それ以来、編集協力員の活動に携わりいろいろな記事を書き、皆さまにお知らせをしてきました。

その中でも私自身が笠懸町、みどり市で県子育連に携わっていたこともあり、子どもに関わる現場では特に思い入れを持って取材をしていました。

また、社会教育は学校教育と違い、異学年のつながりのあり方があります。先輩は後輩を導き、後輩はそれを鏡として成長していくことです。その結果を見ていると将来に明るい希望を感じます。自分自身もそういう光景を肌で感じ今後の取材を通じ私の行動に生かしたいと思えました。

上山 利夫さん (4区)

「かさかけ公民館だより」は昨年、公民館報の全国コンクールで銀賞を受賞しました。大変名誉なことだと思えます。私も微力ながら少しは貢献できたと思っております。ところでまず私が館報の編集協力員

をやりたいと思った理由の一つとして、以前から公民館活動にいろいろ関わっていたので、年間を通しての事業がだまかに把握(時期等)できればと思ったからです。また、笠懸地区における各区の事業や様子を直接取材することによりおおよそつかめることができるだろうと考えたからです。

そして編集協力員になって思ったことは、笠懸町の魅力や地域力を直接取材して実感できたこと、知人が多くできたこと、いろんな課題や要望等が見えてきたことなどです。最後に私の率直な思いですが、広く世間を知り自分の人間形成にも少なからず役立つと思うので是非一度編集協力員を経験してはいかがでしょうか。自分の郷土に大いに関心が持てるようになりたいです。



**職員紹介
よろしくお願ひします&お世話になりました**

新しく笠懸公民館勤務となった職員と人事異動により別の職場に勤務することになった職員を紹介します。

**【職員】
小林 洋行**

10月1日からお世話になっております。年度途中で担当者が代わることで利用者の方々に不便をかけるまいと早く職場に慣れるように努めてまいります。

社会教育職場の勤務は初めてですが、地域の人たちの学びの機会が充実したものであるようお手伝いができればと思えます。

**【職員】
高野 修平**

1年半という短期間でしたが利用者や地域の皆様には大変お世話になりました。コロナ禍で実施できなかった事業は少なかつたですが、その過程や日頃の利用でたくさんのお話を学ばせていただきました。これからも

**【シルバー派遣職員】
伊藤 精司**

今年7月から夜間管理業務を担当させて頂いております。いつも各グループの皆さま方はつらつとした表情で来館や活動を終えて退館される姿を拝見させて頂いております。今後とも利用者の方々に笠懸公民館での諸活動を通じて一層の親睦交流を深めて頂きたいと思えます。



みどモス

ひまわり畑を散歩して

今年もひまわりまつりは中止に

笠懸町第8区吹上地区のひまわり畑で、今年もひまわりがきれいに咲きました。新型コロナウイルスの影響で、今年も花畑まつりは中止となりイベントの蒸かしまんじゅう等の販売はありませんが、駐車場はいっぱいで、取材日もたくさんの方が見物に訪れています。今年も台風も無く、きれいに咲いたひまわりの花は

人の心を和ませてくれるようです。でも今年ももう10月も半ばになるのにまだ暑くて夏がいつまでたっても帰ってくれません。

朝、ひまわりを見に行くのと皆、東に向ききれいな花を咲かせていました。ひまわりは、お日様に恋をしているので、朝から夕方、日が沈むまで見つめ、追いかけて行くという。昔そんな



▲ 8区吹上地区のひまわり

話を聞いたことがあったのをふと思い出しました。8区の皆さんが丹精込めて育ててくれた花をしみじみ眺めながら、ひまわり畑を散歩しました。

秋晴れの下稲刈り体験

岩宿の里米っこクラブ

10月2日(土)緊急事態宣言が解除になって最初の週末に台風一過の秋晴れのもと、「岩宿の里米っこクラブ」の古代米の稲刈りが行われました。足元はまだ少しぬかるんでいましたが秋の日差しに輝く稲穂は「黄金色」元気に参加者は鎌を持って作業に汗を流していました。子どもたちも一生懸命

懸命稲刈りを手伝っていましたが、途中中田んぼから出てくるバッタやカマキリ、トンボにザリガニを見つけて本当に楽しそうでした。縄文、弥生時代に興味があつて古代米作りに参加したと言う小学生の男の子は早く黒米、赤米の古代米を食べてみたいと待ちきれない様子で話していました。



▲稲刈りをする親子たち

刈り取った稲を束ねて稲架(はぎ)掛け、天日干しをして今回は終了、次回の脱穀が楽しみです。同時期に植えたサトイモも大きくなっていました。

こえのひろば

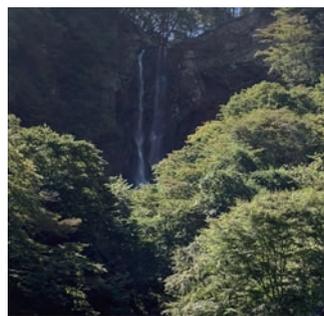
投稿

滝めぐり

風鈴

吉岡町上野田船尾山に町指定の名瀑、船尾滝があります。高さ72m余りもあり、遠くからでもその姿が見られます。断崖から流れ落ちる美しい姿が見物です。

ふもとの駐車場から20分程度遊歩道を歩くと、滝が見えるところへ到着します。滝の手前に石像が2体あ



▲奥に見えるのが船尾滝

ります。その作者は吉岡中学校の先生だった人です。船尾像と静思像といいますが、船尾像はふもとで彫られた場所です。静思像はそこ

投稿募集

みなさんからの投稿を募集します

身のまわりの出来事や日ごろ感じていること、公民館に関するご意見や感想など、なんでもお気軽にお寄せください。

- ◇本文(400字以内)
- 氏名、住所、電話番号を明記
- ◇しめきり 毎月10日
- ◇宛先 笠懸公民館
- 原稿は、郵送・ファックス・メールなどご都合のよい方法で提出ください。

※紙面の都合により掲載できない場合があります。予めご了承ください。

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

投稿

列車にゆられて(44)

野利 哲

富山市内を走る電車はポートルラム(富山ライトレール富山港線)とセントラム(市内電車)があります。富山港線は富山北駅を起点に岩瀬浜までの7.7kmを結んでいます。セントラムは市内電車で富山駅から富山大学(2.9km)、南富山駅(3.8km)、環状線(1km)から成っています。富山港線は旧国鉄の路線で北陸地方では唯一の直流電化でした。首都圏で走っていた旧型車両が在籍

していたので、昭和の時代富山へ写真撮影に出かけたとき乗車した記憶があります。2006年、国鉄からポートルラムに移行しました。斬新なデザインの低床車両で人に優しい電車です。住民の利用がJR時代と比べると平日が2倍、休日で3.5倍増えたとい

換えなしでいけるようになります、ますます市民にとって利便性が高まりますね。運賃は1回200円、お得なフリーキップ「富山まちなか岩瀬」は820円。最近、富山駅と富山北駅間の線路が繋がったようです。出かけてみようと思っています。

セントラムは富山駅を起点に市内を走っています。富山城(富山市郷土博物館)はブランドプラザで下車するのが便利です。

私が訪ねた時は、富山駅と富山北駅の約300mの接続工事中でした。繋がれば岩瀬浜から市内へと乗り



▲ポートルラムの低床車両

笠懸短歌サークル

九月例会より



コロナ禍の友の飯屋の昼の客二時間あまり夫と吾のみ
露地茄子も盛りとあれば生りもよく高値続きにほくそ笑む日々
従姉との終の旅路はポルトガル大西洋といわしにビール
昨夜の雨南天の葉にキラキラとダイヤモンドの指輪になれば
ひと打ちに五つ命を奪ひたるこの快感は知るまじやぶ蚊
味見すらできなくなりぬ一房が千八百円の葡萄を前に

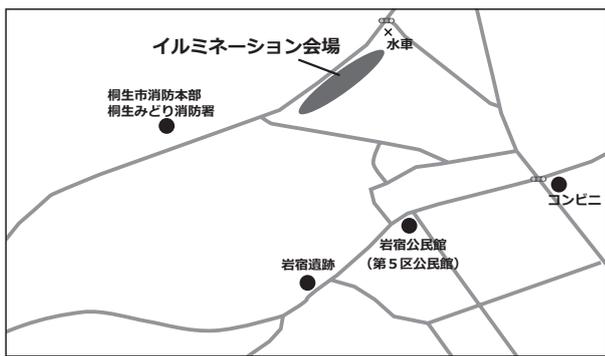
上村 征子
橘内 文夫
久保田茂子
近藤ふさ子
関口 定夫
平山 勇

イベント

岩宿イルミネーションが始まるよー!

岩宿遺跡のすぐ近く、岡登用水阿左美緑道(水車のある遊歩道)で、ボランティア団体ハリカポリー主催による岩宿イルミネーションが開催されます。コロナのせいで気持ちがパツとしない皆様の心にブルーの灯りを灯しますよ。

イルミネーションをきっかけに岡登用水阿左美緑道をお散歩してみませんか。



イルミネーションとお散歩でリフレッシュ＆リラックです。ぜひ、お出かけください。

【点灯期間】

10月31日(日)〜令和4年2月20日(日)の午後5時〜9時

【問い合わせ先】

ROCK INN RADIO
TEL050-1006-8267
主催：ボランティア団体ハリカポリー



▲イルミネーション前回の様子

感染防止対策に引き続きご協力をお願いします。



みどモス

四季の会 八月句会

小望月 黙秘の雲をはらひのけ
 秋の旅 パンプばかりの鼻メガネ
 冬瓜の菜園で収穫夫の笑み
 樹木葬近ごろはやり百白紅
 稲光はたけの夫が気にかかる
 朝顔や去年の種が吹きにけり
 掛花に屁屎葛の小花かな
 秋雨にぬれて万歩を果しをり
 秋の蠅孫が追ひかく昼餉かな
 秋めくやブラウスの袖長くなり
 ふるさとの実家の山よ法師蟬
 鳳仙花つぶして男の子爪を染む
 川施 餓鬼恩師のねこが先導す
 送り盆 八体仏に一礼す
 姉の子と姉を見舞ふや初嵐
 ひぐらしや遺跡の山で合唱す
 ファンより貰ひしキムチ秋の駅
 七草のなでしこ活ける白磁かな
 盆の月窓より祈るケアハウス
 蟬しぐれ二人で歩く赤城沼
 盆休みどこへも行けず妻のそば
 盆の雨母の相伴で一日かな
 凌霄花鉢に咲かせるがんと爺
 村地蔵お供物に盆の雨
 徘徊の患者と出合ふ秋の院
 爺の星指さす孫と星月夜
 送り盆二匹のワンコと子等連れ
 入院の友を気遣ふ盆の月
 生身魂電話ですます味気なさ
 独り居や耳遠くなりし蟬しぐれ
 虫しぐれ無人の駅を賑やかす
 男郎花庭師自慢の石を据へ
 鳥鵲橋父の元へと母の魂

佐藤由美香 高野春蝶 窪田友美 金井英麿 高野光詢 糸井佳酔 家住紫香 窪田劍邦 前原紫蘭 中谷邦女 童鳥海 小此木和音 糸井梅光 韓百日紅 新羅光海 石原青蓮 冠二郎 横倉雅 徳田夕子 糸井初音 川岸星漢 小林狐一 吉田和義 小林華笑 金井光順 楮沢春蘭 村田紅蘭 東宮春水 佐藤小春 須田小春 村田仙寿 宇野小町 金野勘大 光月



荒神山から茶臼山へ

萩 芳岳

みどり市笠懸東小学校の近くに荒神山(標高218m)があります。山頂は樹木に覆われ展望はイマイチですが、地元のハイカーには茶臼山までの登山路として歩かれています。荒神山だけの紹介では物足りないので、桐生市の茶臼山(標高294m)へと連なる尾根歩きをご案内しましよ。笠懸東小学校の南に荒神山の登山口があり、看板に従って進みます。直ぐにクサリ場がありますが、迂回路を登っても大差なく通称「展望広場」となります。ここは笠懸東小学校が新1年生の歓迎行事として登っています。6年生が新1年生、5年生が2年生に付き添い責任を持って広場まで登ります。そして、校歌を全員で合唱するのが開校以

来の習わしとなっています。展望広場からほどなく荒神山山頂です。山頂には石宮や野鳥の看板、そしてベンチや登頂記念用のノートが置かれています。ここから茶臼山まで尾根伝いに進みます。右手は数塚方面、左は桐生市方面で明瞭な尾根道なので迷うことはないでしょう。いくつもの起伏を越えながら展望のない樹林帯の道ですが、桐生市の基準点(標高242m)を過ぎると道は下降し、東毛青少年自然の家職員さんが整備している登山道の三本松コースの分岐となります。

す。さらに進めば八王子山となり、ここから左に道をとれば茶臼山となります。これまで、ハイカーに会うことが稀でしたが、ここからは多くのハイカーと会うことでしょう。

茶臼山の登山路はバラエティに富んでおります。私の知るところでは桐生側では4つのルート、数塚側では東毛青少年自然の家を起点とした5つのルートですが、粕山峠をこえて唐沢山(標高261m)に至るルートも捨てがたいですね。里山の良さを満喫してはいかがでしょうか。

ちょっと一息



コロナ禍で続いた自粛生活、もうすっかり慣れてしまった。今日もテレビを見ながら、お菓子のつまみ放題。知らず知らず増える体重に嘆息をつく。そんな中、机上に置かれた手帳をめくって見た。とりあえず10冊。他のは押し入れだ。座り込んで読んでみると、まるで昨日の事のように、10年前の記憶が蘇る。日記のように書かれた日々の生活。

自分の事より孫の事ばかりだった頃、忙しく働きたがら、ボランティア活動も頑張っていた。毎日が忙しかったけれど、書き残す事も無い程、平凡な毎日だった。

コロナのおかげで時間も忘れて、懐かしく読みふけた。昔の若かりし自分に逢った気がして一人、にんまりとしてみました。

「おうち時間」のこんな日も又いいかもしれない。

(長)